

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

2 + 3 = 5 はできるのですが、「5 は、2 と □」の、
□ の数がわからないのですが



数の意味が十分に理解できていないためと考えられます。
5 や 2, 3 がどのようなものの集まりかを、理解させる必要があります。

1

2 + 3 = 5 は、どのようなことをあらわしているか
説明させます。

お子様に、10個のブロックやおはじきを渡して、2 + 3 = 5 の説明をさせてみましょう。2
このブロックと3このブロックを合わせたものが、5このブロックになることが、わかっている
かどうか、チェックしてみましょう。

$$\begin{array}{ccccccc}
 \boxed{}\boxed{} & + & \boxed{}\boxed{}\boxed{} & = & \boxed{}\boxed{}\boxed{}\boxed{}\boxed{} \\
 2 & + & 3 & = & 5
 \end{array}$$

上のようなことが説明できないときは、数と式の意味を理解していないためと考えられま
す。「2 + 3 は、5」と、マル暗記している恐れがあります。

数がものの集まりを表していることがわかっていれば、「5 は、2 と □」は、逆の考え方で
あることが、わかるはずです。

$$\boxed{}\boxed{}\boxed{}\boxed{}\boxed{} \text{ は、 } \boxed{}\boxed{} \text{ と } \boxed{}\boxed{}\boxed{}$$

5 は、2 と □ ← □ は、3 になります。

2

分けたおはじきの一方をかくす遊びをしましょう。

5個のおはじきを分けてかくす遊びを紹介します。

- ① 5個のおはじきを見せて、個数を数えます。
- ② 5個のおはじきを両手で持ってかくして、2つに分けます。
- ③ ②の一方の手を開いて、その個数を数えます。
- ④ 開いていない方のかくされているおはじきの個数を当てます。
- ⑤ 数が合っているときは、手を開きます。

- おうちの方とお子様と、代わるがわるの問題を出し合うと、楽しいゲームになります。
- はじめのおはじきの個数を、3～10個の間で変えてみましょう。